

	Type	L #	Hits	Search Text	DBs	Time Stamp
1	BRS	L1	428	362/23.ccls.	USPAT; US-PGP UB; EPO; JPO; DERWEN T; IBM_TD B	2002/05/25 12:04

	Comments	Error Definition	Errors
1			0

	Type	L #	Hits	Search Text	DBs	Time Stamp
1	BRS	L1	171	362/85.ccls.	USPAT; US-PGP UB; EPO; JPO; DERWEN T; IBM_TD B	2002/05/27 10:38
2	BRS	L9	456	341/23.ccls.	USPAT; US-PGP UB; EPO; JPO; DERWEN T; IBM_TD B	2002/05/27 16:10
3	BRS	L18	253	341/28.ccls.	USPAT; US-PGP UB; EPO; JPO; DERWEN T; IBM_TD B	2002/05/27 18:02
4	BRS	L25	108	345/170.ccls.	USPAT; US-PGP UB; EPO; JPO; DERWEN T; IBM_TD B	2002/05/27 18:56
5	BRS	L33	165	345/171.ccls.	USPAT; US-PGP UB; EPO; JPO; DERWEN T; IBM_TD B	2002/05/27 20:32

	Comments	Error Definition	Errors
1			0
2			0
3			0
4			0
5			0

	Type	L #	Hits	Search Text	DBs	Time Stamp
6	BRS	L40	107	40/444.ccls.	USPAT; US-PGP UB; EPO; JPO; DERWEN T; IBM_TD B	2002/05/27 20:37
7	BRS	L48	245	40/442.ccls.	USPAT; US-PGP UB; EPO; JPO; DERWEN T; IBM_TD B	2002/05/27 20:38

	Comments	Error Definition	Errors
6			0
7			0

CLIPPEDIMAGE= JP358086626A
PAT-NO: JP358086626A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 58086626 A
TITLE: KEYBOARD

PUBN-DATE: May 24, 1983

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
HASHIZUME, JIRO

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD N/A

APPL-NO: JP56184170
APPL-DATE: November 16, 1981

INT-CL_(IPC): G06F003/02
US-CL-CURRENT: 341/23

ABSTRACT:

PURPOSE: To reduce erroneous input by visually grasping only characters which are inputted selectively when a shift key is pressed or not pressed.

CONSTITUTION: At the front edge of a keyboard 6, lamps 3 and 4 or red and blue are provided, and turn on alternately with a shift key 1. Each key 2 has a character 7 displayed in blue and a character 8 displayed in red, and the character 7 or 8 is inputted by pressing the shift key 1 in combination. When the character 8 is displayed with the shift key 1, and blue lamp 4 turns on and when the character 7 is inputted, the red lamp 3 turns on. For example, when the character 8 can be inputted, the character 7 is masked with light from the blue lamp 4 and only the character 8 is read. Therefore, characters to be inputted through the combined operation of the shift key 1 are made evident to prevent erroneous input.

COPYRIGHT: (C)1983,JPO&Japio

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—86626

⑤ Int. Cl.³
G 06 F 3/02

識別記号

庁内整理番号
6798—5B

④ 公開 昭和58年(1983)5月24日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑥ キーボード

門真市大字門真1048番地松下電
工株式会社内

② 特 願 昭56—184170

⑦ 出 願 人 松下電工株式会社

② 出 願 昭56(1981)11月16日

門真市大字門真1048番地

② 発 明 者 橋爪二郎

⑧ 代 理 人 弁理士 竹元敏丸 外 2 名

明 細 書

1. 発明の名称

キ ー ボ ー ド

2. 特許請求の範囲

(1) シフトキー(1)の操作により打出し可能となる文字群ごとにキー(2)上に色分け表示し、シフトキー(1)の操作により、当該シフトキー(1)の操作により打出されるべき文字にスポット光を照射し、打出し可能となる文字を判然とさせることを特徴とするキーボード。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、マイコン及びマイコン利用のワードプロセッサ等のシステム商品に使用するキーボードのキー1個に表示された複数個の入力文字の中、シフトキーを押す又は押さない事により選別され入力可能となる文字のみを視覚的にとらえられる様にして(即ち、対象外の文字をマスクする)使用者の誤入力を減少させるキーボードを提供せんとする。マイコン及びマイコン利用のワード

プロセッサ等のシステム商品が普及するにつれて、命令入力、プログラミングの為にキーボードを一般消費者が操作する機会が多くなった。一方商品設計者はコストダウン及び信頼性向上等の為、可能な限りシフトキーの導入によりキーボード上のキーの数を減少する事を狙う。(キーの様な機械部品は故障の原因となる事が多いことに起因している。)しかし、一般ユーザにとってキーボードは使い慣れていない為シフトキーの操作により入力する場合同一キーに複合表示された入力文字のどの文字をシフト入力しているのかが、キー数が多くなった場合非常に認識しづらいという欠点があった。

従来にあつては、使用者はキーボード上のキーから入力したい文字を捜しその文字がシフト入力か否かを判断し、シフトキーを押しながら該当キーを押して入力していた。この場合所要の文字が入力される状態になっているか否かの判断がおいにくい欠点があつたのである。

本発明は上記欠点を除去せんとするものであり、

その要旨とするところは、シフトキー(1)の操作により打出し可能となる文字群ごとにキー(2)上に色分け表示し、シフトキー(1)の操作により、当該シフトキー(1)の操作により打出されるべき文字にスポット光を照射し、打出し可能となる文字を判然とさせることを特徴とするキーボード(8)である。

以下本発明を図示せる実施例に基づき説明する。

この実施例では、キーボード(8)の前端にキーボード全面を照射する赤色と青色のランプ(3)、(4)を設け、シフトキー(1)を押すことにより点灯ランプが変わる。

キー(2)には、青色で表示された文字(7)と赤色で表示された文字(8)が入力可能であることを示し、シフトキー(1)の操作により青色で表示された文字(7)または赤色で表示された文字(8)を入力可能状態とする。そしてシフトキー(1)の操作により赤色で表示された文字(8)が入力できるときは青色のランプ(4)が点灯し、青色で表示された文字(7)が入力できるときには赤色のランプ(3)が点灯する。

而してシフトキー(1)の操作により赤色の文字(8)

を入力できる状態にしたときは青色のランプ(4)の照射する光により青色の文字(7)はマスクされ、赤色の文字(8)のみが読みとれる。また青色の文字(7)を入力できる状態にしたときは赤色のランプ(3)の照射する光により赤色の文字(8)はマスクされ、青色の文字(7)のみが読みとれる。以上の如くして使用者はシフトキー(1)の操作により入力できる文字を判然と認めることができるので誤入力のおそれは少ないのである。

尚、上記実施例では、打出さない文字をマスクする方法を採っているが、逆にキーの内に各文字に対応した豆球を配し、シフトキーの操作により打出せる文字の方を該豆球が照らすようにしてもよい。

以上のように本発明によれば、使用者はシフトキーの操作により入力できる文字を判然と認めることができるので誤入力のおそれは少ないのである。

4. 図面の簡単な説明

第1図及び第2図は本発明の一実施例を示す図

で、第1図は斜視図、第2図は部分拡大図である。

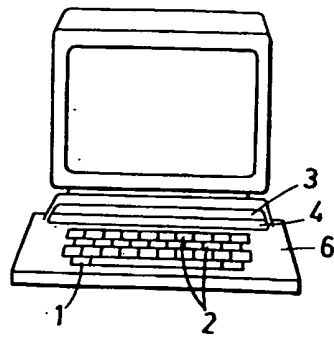
特許出願人

松下電工株式会社

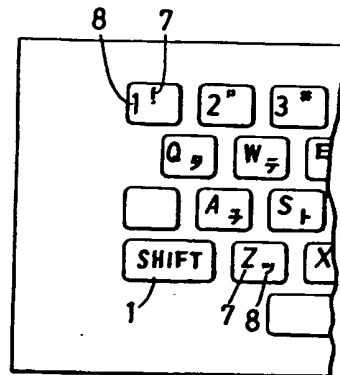
代理人弁理士 竹元敏丸

(ほか2名)

第 1 圖



第 2 圖



	Type	L #	Hits	Search Text	DBs	Time Stamp
1	BRS	L1	0	362/32.ccls.	USPAT; US-PGP UB; EPO; JPO; DERWEN T; IBM_TD B	2002/05/28 09:33
2	BRS	L8	959	362/32.icls.	USPAT; US-PGP UB; EPO; JPO; DERWEN T; IBM_TD B	2002/05/28 09:37
3	BRS	L15	124	362/24.ccls.	USPAT; US-PGP UB; EPO; JPO; DERWEN T; IBM_TD B	2002/05/28 09:43
4	BRS	L23	399	362/109.ccls.	USPAT; US-PGP UB; EPO; JPO; DERWEN T; IBM_TD B	2002/05/28 09:44
5	BRS	L31	1417	341/22.ccls.	USPAT; US-PGP UB; EPO; JPO; DERWEN T; IBM_TD B	2002/05/28 09:47

	Comments	Error Definition	Errors
1			0
2			0
3			0
4			0
5			0

	Type	L #	Hits	Search Text	DBs	Time Stamp
1	BRS	L1	590	362/551.ccls.	USPAT; US-PGP UB; EPO; JPO; DERWEN T; IBM_TD B	2002/05/28 19:29
2	BRS	L9	164	362/559.ccls.	USPAT; US-PGP UB; EPO; JPO; DERWEN T; IBM_TD B	2002/05/28 19:29

	Comments	Error Definition	Errors
1			0
2			0